

方丈の追山式に臨んで

義親とての御挨拶

茲に貴方丈俊隆師の追崇の式を奉り  
 するに當り一言の礼を申上げさして  
 戴きます。私に佛縁と総代様方  
 のは推薦よりして昭和廿二年春  
 義親となつたこと以来約廿年  
 種々の問題がソレカラソレへと走馬  
 灯の様、頭の中を去来あして寧ろ  
 感慨無量のものがあつたのであります  
 これらは方丈とえが關係してゐた境域  
 の第壹幼稚園が終戦の年四月  
 以降休園し廿二年再開園した

2  
當時から私の理事として其の運営

に苦勞甚勞したと思ひ出て居つてソなため

一層その感深くするやいとありませ

之れを日々申上げなき共皆榊は承知

の事と思ひますので有難うとして戴き

事が方丈様の性格無款恬淡叔

謀游戯を廻らし人と事を構える様

な方でなましく何事よき事もなされ何事

親まれる極めて濃厚な人物であり

昭和三年春法米の法が出来た時

総代会より長くして二年を帰つてくる

様に約束したのが毎日本(三八年)に

一時帰国した時更之三年(本年)

にはある(といはれ)拙者は少からずカンカリ  
 と何をもソウのかと懐くすら感じたるの  
 へぶふます。然しアメリカの仕事が大々  
 軌道に乗り、道を歩めり白人の莫大熱意の  
 姿を見て今此處で捨て、帰るを忍びず  
 多くは同意の務に及ぶの中<sup>あり</sup>去る已む無く  
 帰米を許したるであります。

方丈迄のり初が個人のためであるとして  
 なく許し難い事ありませしが、只、後宗

#

明治三十四年四月五日



この外でも方丈さんご種々の問題が

あつた。だが、要するに、欲の無き人、悪  
 意のない人、どうも人が徳が溢れて、争はれた  
 のみならず、反して拙作家の皆さん方初め  
 法寺院様のほほ意ほほは、援へ御礼  
 支へられ、とつ後、任りて弟子包一君  
 を迎へ入れられ、た事、文学道へ  
 方丈さんの終生の感激でなければ、さう  
 せん、私もホットした思持ちで之れに  
 携る喜び、いふにせん、謹んで御礼申上  
 ける次第であります。

斯方上の宗門典隆のため白人間に

大に活躍する事が即ち林史之十

五世の功績とて後世に傳へられし樹方

丈さん之謀告られた重大なる機会とあり

任にありし時これ<sup>2</sup>挺身<sup>2</sup>踏出する事

こそ拙家に対して行はすのは恩返

しと云ふ事なかりし堅く約束した

事あります。

終りになす事だが多分稗史の皆様

厚く是れを申上げ<sup>1</sup>事かごさうおまの<sup>2</sup>事

皆様方を河をわづつけ陽の陰々

林史院のためは後接をたぐまかり

洵に是れより<sup>1</sup>樹方と云ふいかなん

先之は手洗の改築の際、毎朝の用意

付をいたさきす。ちのみならず。此の

掲げてある紫の立派な幕（縮緬の）や襷巻の

墨替え、更之令田、見事な此の五巻幕

と家通せられ、此の式典を壮んにして

れず。たは厚意、ほんとは礼中を許して

らう。あう担家一同感激して、

が身であります。新住私包一君もまた

獨身者

牛乳カードをいそいでいます。連夜誰の焼ける

と思ひます。か、兼方丈梅田榎は外

この程、おぼは然りやとけるゆゑであります

以上、おの其のつくし、甚んが、謹んで、見礼

昭和36年法人組織の稼センタ-を作り  
香港を道場として

月火木金 - AM 5:45 ~ 6:45 座席

水 - PM 5:30 ~ 6:30 //

70人 土 - PM 7:30 ~ 9:10 講

日 - AM 5:45 ~ 10:00 座席 降階

AM 8 ~ 9 座 PM 2 ~ 4 時人対照  
9 ~ 10 講 座講

セミナーの準備

15.6人 - ロシアの木 AM 6:00 ~ 7:20 ~ 座  
PM 7:30 ~ 8:30 ~ 講

10人 - パーティ - 月 AM 5:45 ~ 6:45  
20分 講  
40分 座

70-100%  
相手は白人であるから英語で講義する  
通訳を付けるのではないから直接口より耳へ  
入るの魅カを持れば大会評判がよくなる  
~~現在70人位の人数がある~~ あるいは  
あります

私の挨拶といは

カとけりて其々各後の有勢いセキヤク



Amano Genichi's talk at SK 2  
 - Tai Sanshiki (retirement ceremony)

茲に本方丈後隆師の退老の式を奉り  
 するに當り一言五礼を申上げさうと  
 戴きまします。私に佛縁と縁代様方  
 のは推考さうさうして昭和廿二年春  
 義親と成りすして以来約廿年  
 種々の困難がソレカラソレへと立馬  
 町の極の頭の中を去まわして寧ろ  
 感慨無量のことがあつたのであります  
 これらは方丈さんが園係としていた境域  
 の第壹幼稚園が終戦の年四月  
 以降休園し廿二年再開園した

昭和二十二年四月  
 天野元吉